

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:太陽エネルギー化学研究センター

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、博士後期課程学生7名を含む32名の学生を研究指導し、博士後期課程学生3名、博士前期課程学生9名、学部生8名に学位を取得させるなど、適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、可視光で駆動する光触媒系として貴金属ナノ粒子を用いる光触媒の効果及び設計指針を世界に先駆けて発表し、ルチル型二酸化チタン光触媒の酸素欠陥サイトを利用する高効率・高選択的な脱酸素反応を新規開発し、環境調和型光触媒材料の研究結果が商品化に結びつけられるなど、特筆すべき成果を挙げ、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、共同研究5件、受託研究6件、奨学寄附金9件を受け入れ、特許を7件出願するとともに、センター特任教授が開発した触媒が商品化され、市販されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、センターのホームページのリニューアルを実施し、広報を強化するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成24年度は、センター特任教授が開発した触媒が商品化され、市販されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。